| 分野 | 科目名 | 配当年次 | 開講期 |
|---|---|---|---|
| 専門分野 | 看護に必要な基本技術Ⅱ | 1年次 | 前期 |

| 単位数 | 時間 | 担当教員 | 実務経験の有無 |
|---|---|---|---|
| 1単位<br>(30時間) | 30時間 | 大島ゆかり | 有 |
| | | | |
| | | | |

| | |
|---|---|
| 授業の概要 | 看護実践能力の基礎となる観察、コミュニケーション、記録・報告について学ぶ。また、コミュニケーションでは、人間関係論Ⅰで学んだことをもとに看護におけるコミュニケーションの特徴を学ぶ。 |
| 到達目標 | 1．看護における観察の意義、目的、方法、内容を理解する。<br>2．看護におけるコミュニケーションの意義、基礎知識、方法を理解する。<br>3．看護における記録・報告の意義、基礎知識、方法を理解する。 |

授業計画

| № | 授業内容 | 授業方法 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 1 | 「見る」と「観察」との違い | 講義 | |
| 2 | 看護における観察とは | 演習 | |
| 3 | 観察の目的、内容、方法を「看護覚え書」から学ぶ | 講義 | |
| 4 | 看護における観察のプロセス、観察上の誤りと防止方法 | 講義・演習 | |
| 5 | 主観的情報と客観的情報、観察眼を高める方法 | 講義 | |
| 6 | 看護におけるコミュニケーションの意義、基礎知識 | 〃 | |
| 7 | 対人マナーについて | 演習 | |
| 8 | ロールレタリングで患者さんの気持ちを考える | 〃 | |
| 9 | 効果的なコミュニケーションを実施するためのスキル | 講義 | |
| 10 | 傾聴演習、コミュニケーション技術を習得するための訓練 | 講義・演習 | |
| 11 | 情報収集と記録の意義、看護記録とは | 講義 | |
| 12 | 看護記録の種類と構成要素 | 〃 | |
| 13 | 診療情報の特性と管理 | 〃 | |
| 14 | 看護記録上の留意点 | 講義・演習 | |
| 15 | 報告の目的・種類・方法 | 〃 | |

| | |
|---|---|
| 評価 | 筆記試験　100点 |
| 参考文献 | 1）F. ナイチンゲール：看護覚え書―看護であること・看護でないこと―　改訂第7版　現代社 2017.<br>2）金井ひとえ：実践を創る新看護学原論. ナイチンゲールの看護思想を基盤として　現代社 2012. |
| 備考 | |